



白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。



## 所長あいさつ



### 安全で活力ある地域をめざして

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2月に白馬村で国体開催がありますので、白銀の世界がいつまでも広がっていることを願いたいと思います。

昨年は、今年の漢字が「金」となったように、オリンピックイヤーで日本人選手の活躍など明るい話題もありましたが、熊本地震など大きな災害もありました。

熊本地震は、神城断層地震と同じ内陸型活断層によるものですが、今まで考えられなかった震度7が2回というような地震でした。

災害はいつどこで起こるかわかりません。

姫川砂防事務所では、一昨年の神城断層地震、今年の熊本地震などの教訓を参考に、災害がおこっても被害を最小限にすべく、砂防施設、地すべり防止施設の整備・維持・管理、防災情報の提供、地域の警戒避難体制づくりの支援を行ってまいります。

地域の皆様には、土砂災害のおそれのある区域とそこにある砂防施設に関心を持っていただき、施設の維持管理に協力していただくと共に地域の警戒避難体制づくりに取り組んでいただけますようお願いいたします。

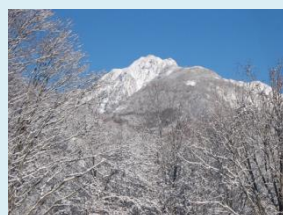
結びに、本年が地域の皆様にとって良い年で、災害の無い平穏な年となりますようお祈り申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。



姫川砂防事務所長 湯沢秀人



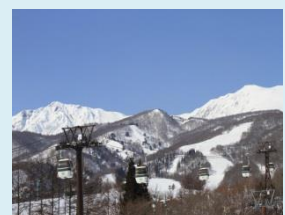
事務所玄関のお正月飾り



白銀の雨飾山



姫川源流



樽池から見る白馬岳

## 小谷村文化祭に砂防展を出展しました

10月29日と10月30日に第59回小谷村文化祭が小谷村役場で開催され、姫川砂防事務所では砂防展を出展しました。今年の出展内容は、「門前沢で発生した土石流災害」、「全国初の砂防カード」、「平成28年3月に指定された土砂災害警戒区域（地すべり）」等のパネル展と今年度配備されたドローン（実物）の展示及びドローン操作のシミュレーション体験を行いました。特に、ドローンのシミュレーション体験は多くの方に体験して頂き、大変好評でした。



パネル展示  
(土石流災害)  
(砂防カード)



パネル展示  
(警戒区域)  
ドローン展示



ドローン体験



ドローン体験

## 住民主導型避難体制づくりの取り組み

地域から土砂災害による犠牲者を出さないために、地域住民が運用する自主避難の仕組みづくりが欠かせないものとなっています。

白馬村蔵平地区では昨年度より、この取り組みを行っており地区防災マップを作成しました。そして、このマップを地域住民へ配布するとともに、平成28年11月13日（日）に避難訓練を実施しました。また、今年度は小谷村大網地区で新たに取り組みを始め、平成28年11月28日（月）に第1回目の地区懇談会を実施しました。



白馬村蔵平区防災訓練の様子



小谷村大網地区 危険箇所等のチェック

## 平成 28 年度 長野県優良技術者表彰

平成 28 年 11 月 18 日（金）に長野市において、平成 28 年度長野県優良技術者表彰の表彰式が行われました。当事務所では、建設工事部門で「(株)大糸 糸氏直人氏」、「北陽建設(株) 原田和樹氏」、「(株)今井工務店 藤巻肇氏」の 3 名が、また、専門工事部門で「北陽建設(株) 清水春寿男氏」1 名が受賞しました。4 つの現場それぞれで、独自の取り組みを行うことにより高い品質の構造物を完成させました。



## 第 2 回長野県砂防技術者継続学習支援プログラムを開催しました

10 月 31 日（月）、第 1 回の受講者 10 名の職員を対象に「第 2 回長野県砂防技術者継続学習支援プログラム」を開催しました。今回のプログラムでは蒲原砂防課長から土砂災害防止法とそれに関連する主な出来事、地すべり事例及び天然ダム形成時の基本的な考え方についてお話いただきました。また、姫川砂防事務所職員による、神城断層地震の初動体制や応急工事の判断、ドローン操作の留意点と土砂流出の把握について説明及び講習を行いました。

現地での実践訓練は姫川の来馬河原にて参加者全員で訓練飛行を行い、その後神城断層地震で被災したカクレ沢に移動し、より実践的なドローンによる訓練を行いました。ここで、ドローンの GPS 機能が働かないといったハプニングもありましたが、2 機のドローンを用意していたため、事なきを得ました。

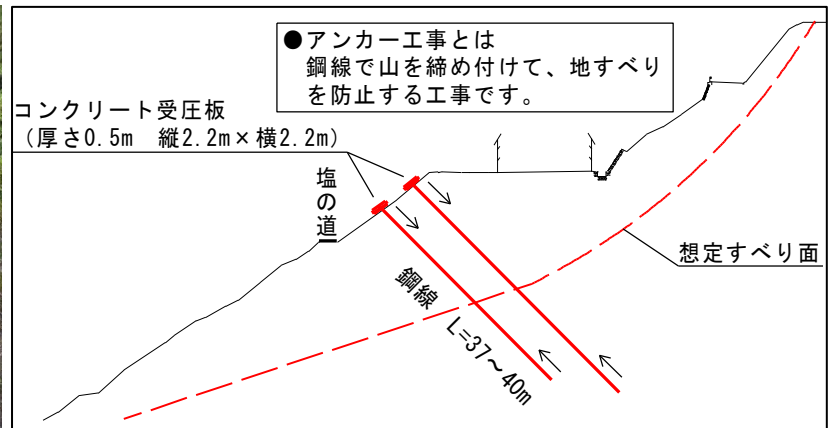
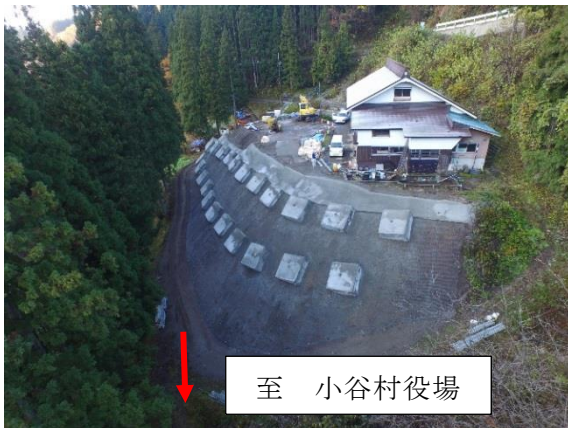
また、当日職員の独力でドローン操作ができない不測の事態に備えて、地元の(株)今井工務店さんに現地集合していただき、操作での注意点の話と飛行デモンストレーションまで行っていただきました。

なお、このプログラムは「継続学習」で、来年度は当番事務所を代えて継続して実施されます。



## 『塩の道』に巨大地すべり防止構造物が！？

当現場は、小谷村南雨中『塩の道千国街道』のすぐ脇にあります。工事は平成28年7月に始まり、今年の3月完成を目指しております。完成すると間近でアンカー構造物（コンクリート部）を見ることができますので、是非『塩の道』に足を運んでいただき、公共土木施設を体感してみてください。



この工事は神城地震による地すべりを抑えるものですが、当作業所の周辺には住宅があり住民の皆様は毎日不安な日々を過ごされているものと思われます。  
12月に入ると雪が降り始めたため、作業も一層大変になりましたが、住民の皆様々に安心していただきたく1日も早い工事完成を目指して頑張っておりますので、もうしばらく、皆様のご協力をお願いします。

【(株)鷺澤建設 現場代理人 田中幸雄氏】

### 平成28年姫川砂防事務所の主な出来事

- 1月 国土交通省砂防部と意見交換会開催
- 2月 若手技術者所長表彰実施
- 3月 ドローン配備（災害時等に活用予定）
- 4月 新体制スタート、事業費当初予算で1割増
- 5月 10月 村と意見交換会、現場確認実施
- 6月 土砂災害危険箇所の合同パトロール実施
- 6月 10月 砂防技術者継続学習支援プログラム実施
- 7月 治水砂防協会総会開催、功労者表彰実施
- 夏期 時差（朝型）勤務本格実施
- 9月 砂防カード交付開始  
白馬大雪渓通行止めでネブカ平調査中止  
小学生の砂防施設現地見学会開催
- 上半期 進捗率約85%達成
- 10月 歴代所長・支部長会議開催
- 11月 神城断層地震から2年
- 12月 例年より早めの降雪、計画どおり工事完了。

